

①田んぼ雑草抑制

②お米の収量増加

③ジャンボタニシ抑制

④田んぼメタン低減

開発/販売体制

✓共同開発先

国立大学法人東京農工大学



(内容)

- ・新品種「さくら福姫」の作付面積拡大
- ・福島復興プロジェクトでの実証実験
- ・東京府中での実証実験

さくら福姫

品種登録は2022年（予定）/東京農工大学開発。

特徴：食味が良い（コシヒカリ同等以上）、収量が多い
養分吸収効率が高く、施肥量を少なくできる（有機栽培向き）
初期生育が早く雑草に強い、茎が太く倒伏しにくい。

- ・雑草の新たな乾物量調査方法の確立
- ・学会共同発表 農業食料工学会第79回 など
(2021年度)年次大会

✓共同開発先

TDK株式会社



(内容)

- ・自動抑草ロボットのバッテリー充放電の効率化、
量産技術で開発連携
- ・秋田エリアでの実証実験

✓販売業務提携先

井関農機株式会社

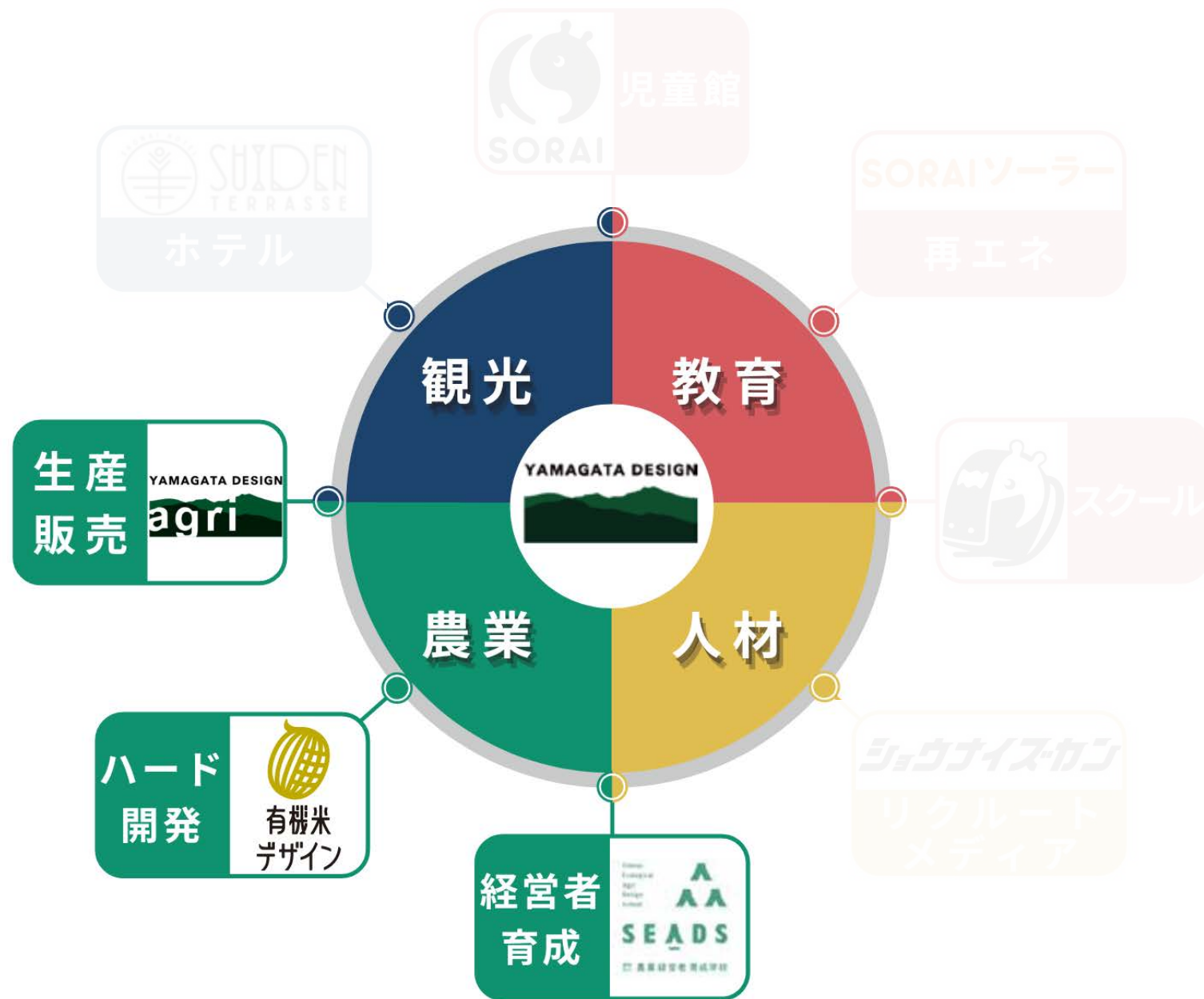


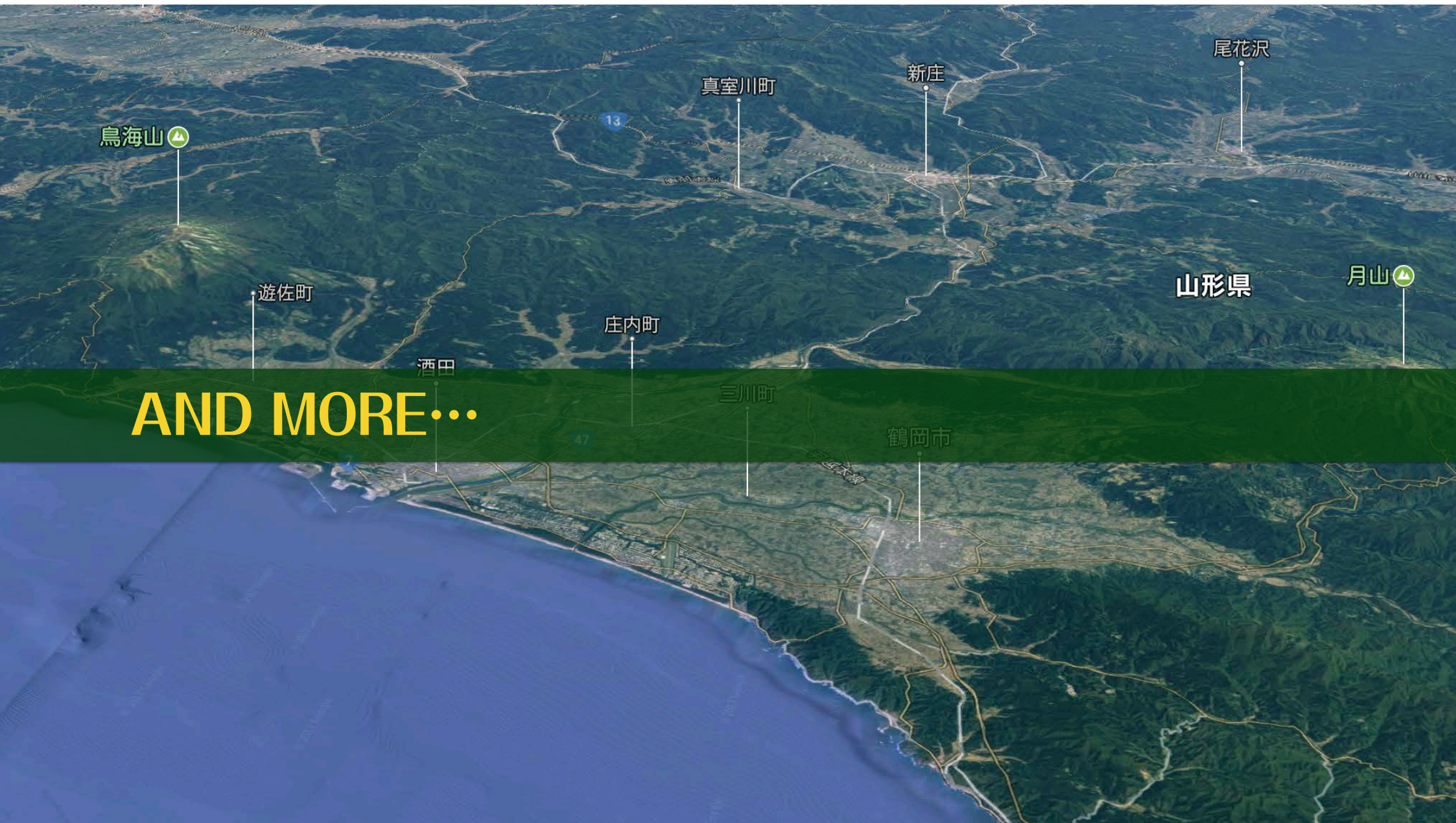
(内容)

- ・自動抑草ロボットの開発、販売に関する業務提携
- ・全国での実証実験











「山形庄内をモデルに」

人間性・経済性・環境性



VISION

山形庄内から、ときめこう。



YAMAGATA DESIGN

